

淡青丸 研究航海報告

東京大学海洋研究所

* 航海番号 KT-05-22 次研究航海

* 観測海域 相模湾

* 航海期間 2005(平成17)年9月6日(火) ~9月15日(木)

* 出港日時・場所 9月6日 14時 東京港

* 入港日時・場所 9月15日 10時 清水港

* 寄港期間・場所 9月11日(三崎沖にて通船で研究者乗り換え)

* 航海の研究題目 海洋の流動環境下における浮遊生態系の機能の把握に関する研究

* 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス◎は@)

高橋正征・高知大学大学院黒潮圏海洋科学研究科・教授・tkhsmac◎cc.kochi-u.ac.jp

* 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス), 観測項目

1. CTD, ADCP 観測による相模湾の海洋構造の研究、
吉田尚郁(tyoshida◎ori.u-tokyo.ac.jp)、CTD・ADCP 観測
2. 微細構造観測プロファイラー(ターボマップ)による放流深層水の貫入・混合過程の
観測、曽根誠子(satoko_s_5_21@hotmail.com)、ターボマップ観測
3. 多項目センサー搭載型漂流ブイによる放流深層水の挙動把握に関する研究、
大村寿明(ohmura◎fuyokaiyo.co.jp)、多項目センサー搭載漂流ブイ観測
4. 放流深層水のプリュームにおける植物プランクトンの群集動態に関する研究、
古谷研(furuya◎fs.a.u-tokyo.ac.jp)、船上培養実験
5. 一次生産粒子の二次生産への移行過程に関する研究、
井関和夫(kiseki◎hiroshima-u.ac.jp)、植物プランクトンの船上培養実験
6. 時系列式セディメントトラップを用いた粒子フラックスの研究、
原田晃(koh.harada◎ni.aist.go.jp)、時系列式セディメントトラップ設置
7. 放流深層水による炭素の放出と取り込み過程の研究、
鶴島修夫(tsurushima-n◎aist.go.jp)、採水分析

* 乗船研究者氏名・所属・職名

高橋正征・高知大学大学院 黒潮圏海洋科学研究科・教授

吉田尚郁・東京大学海洋研究所・農学特定研究員

鶴島修夫・産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門・研究員

増田貴子・東京大学大学院 農学生命科学研究科・大学院学生

國分祐作・東京海洋大学 海洋科学部・大学院学生

曾根誠子・東京海洋大学 海洋科学部・大学院学生

井関和夫・広島大学大学院 生物圏科学研究科・教授

大村寿明・芙蓉海洋開発（株）・課長

○古谷 研・東京大学大学院 農学生命科学研究科・教授

○原田 晃・産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門・総括研究員

○早野智子・広島大学大学院 生物圏科学研究科・大学院学生

上記○印３名は、９月１１日通船にて以下の研究者と交代

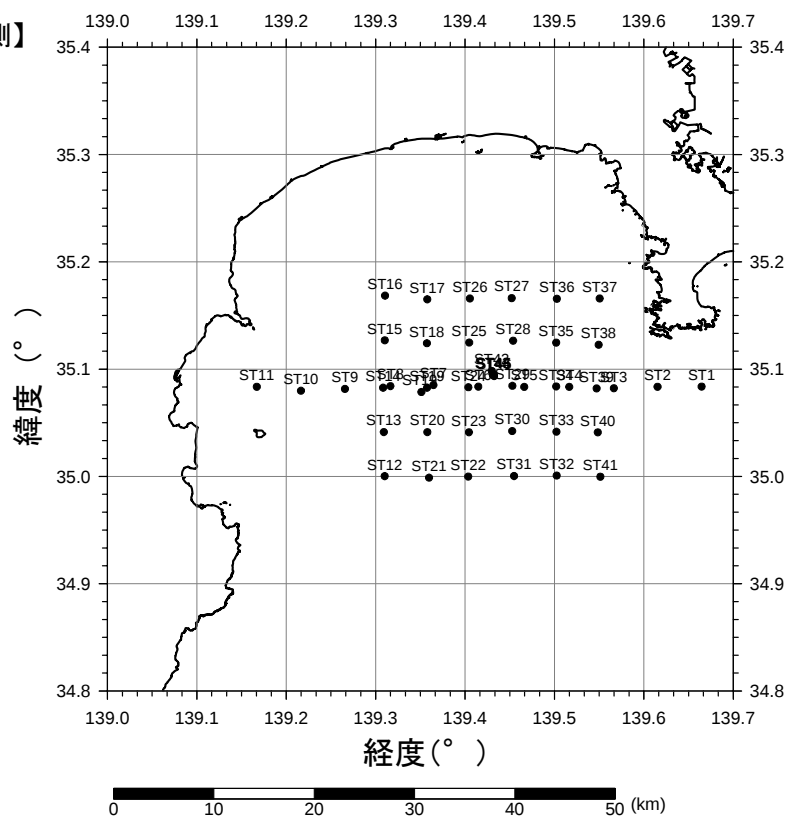
大内一之・（株）大内海洋コンサルタント・代表取締役

丸川真悟・東京大学大学院 農学生命科学研究科・大学院学生

高橋香菜・広島大学 生物生産学部・学部学生

* 航跡・測点図

【バックグラウンド観測】



【トレーサー追跡観測】

